

## 平成 27 年度 第 3 回理事会 議事録

1. 日 時 : 平成 27 年 12 月 12 日(土) 14:00~15:00
2. 場 所 : 弘前大学医学部附属病院 2F 検査部 カンファレンス室  
弘前市本町 53 Tel. 0172-33-5111
3. 出席者 : 小島 佳也、秋元 広之、川村 多蔵、齋藤 浩治、藤田 絵理子、  
増田 望、三上 ルリ子、斉藤 仁、佐藤 めぐみ、木津 綾乃、  
木下 純一、高井 重男、奈良 秀則、久保 忠利、吉岡 治彦
4. 欠席者 : 野坂 亨治、安田 善一、阿部 浩

定款第 5 章第 32 条及び諸規定により、議長に小島会長があたり、書記に佐藤、木津理事が指名され、審議が行われた。

### 【報告事項】

#### 1) 第 2 回理事会議事録報告

資料として配布された『第 2 回理事会議事録』に従って小島会長より報告があり、議事録内容の了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承した。

#### 2) 学術部経過報告

秋元学術部長より、配布資料に基づいて以下のように報告があった

- ・平成 27 年度青臨技精度管理調査は無事終了した。回答速報は HP に随時掲載している。参加施設は去年より 2 施設増えて 67 施設であった。1 施設のみ職場で HP が閲覧できないため、紙媒体を用いて郵送で対応した。

#### 3) 公益部経過報告

川村公益部長より以下のとおり報告があった。

- ・10 月 18 日ピンクリボンプロジェクトが青森市で行われた。
- ・11 月 8 日ヒロロで「検査と健康展」が行われた。青臨技としては初めての運営であった。生化学、生理部門員など総勢 23 名で運営した。多数のご協力に感謝したい。大きな問題もなく終了することができた。来客人数は 151 名、検査技師職業紹介コーナーには高校生が 10 数人訪れて、好感触が得られた。決算としては、総額 555,691 円の支出に対し、日臨技からの助成金 50 万円の収入があるため、収支-55,691 円であった。
- ・高校生心電図の参加者への報酬支払が完了した。来年度も支部の方々のご協力をお願いしたい。

小島会長より以下のとおり追加報告があった。

- ・ピンクリボンプロジェクトにおいて、来年からは青臨技の事業としての参加はやめる。それに伴いエコー参加者はあくまでボランティアとして日当の支払いはしない。
- ・先日、青森県のがん死亡率が11年連続最下位を記録した。臨床検査技師は病院の中でもがん関連の検査、検診に関わっているが、技師会としてあまり活動できていなかったように感じる。そこで来年度より「がん対策プロジェクト（仮）」を青森県などと相談しながら啓蒙活動+αの何かができるよう検討していきたいと思っている。
- ・来年以降の「検査と健康展」は八戸を考えている。八戸は「八戸健康フェスタ」の実績があるため、開催に関して特に問題はないと思っている。医療行為であると指摘を受けた部分も説明のための医師を置き、診療所登録をするなどしてエコーを再び取り入れたい。また、八戸健康フェスタは市との共催となるため日臨技からの助成金は望めないが、青臨技の予算で賄えるのではないかと考えている。
- ・久保理事より、診療所登録の件、エコーの人員、開催スペース、任期終了後の引き継ぎなど諸々の不安要素があるため、今後検討を重ねていきたいと回答があった。

#### 4) 渉外部経過報告

齋藤渉外部長より以下のとおり報告があった。

- ・事務局において県内の高校および弘前市内の中学校に「検査と健康展」での検査技師職業紹介の案内文書を送付してもらった。当日はむつ、西北からも高校生が来ていた。来年も中学校、高校に宣伝していきたい。
- 小島会長より以下のとおり追加があった。
- ・3～5年後にかけて定年退職者が非常に多いため、高校生への職業紹介に力を入れたい。健康展での紹介もするが、単独の事業として進めていきたい。5～7月頃の早めの開催を視野に入れている。場所は弘前大学医学部附属病院を考えている。先日の健康展における職業紹介では保健学科の倍率なども質問があったため、保健学科との連携もしていきたい。

#### 5) 事務局経過報告

藤田事務局長より、配布資料に基づいて以下のとおり報告があった。

- ・青臨技関連経過報告
- ・北日本支部関連経過報告
- ・日臨技関連経過報告
- ・関連団体経過報告
- ・今後の予定に関して、3月13日に第4回理事会と組織強化セミナーが行われるが、日臨技と日程の調整をして宮島会長が青森に来ることが可能である日に決定した。場所は青森市を予定している。

#### 6) 八戸健康フェスタ、弘前健康展について

久保理事より、八戸健康フェスタについて以下のとおり報告があった。

- ・血糖測定を実施した。血糖の試薬を 400 弱用意したが、終了まで持たなかった。次回は 500 強の用意をしたい。

奈良理事より、弘前健康展について以下のとおり報告があった。

- ・弘前市医師会検診センターで市民健康祭りを例年通り開催した。地区の理事会をまだ開いていないため詳細は聞いていないが、若手を中心に活躍し、特に問題なく終了した。黒石健康祭りについては、今年は弘前ヒロロで行われたものと合併して行ったため開催していない。

#### 7) 功労賞、奨励賞について

小島会長より、配布資料に基づいて以下のとおり報告があった。

- ・奨励賞に応募がなく、奨励賞はなしとする。
- ・功労賞は退職 1 年前の技師をリストに挙げ、役員経験者もしくは北日本、日臨技からの表彰者から選考させてもらっていた。十和田市立中央病院の上野文宏氏、弘前大学医学部附属病院の秋元広之氏を該当者とし、表彰審査委員会で決定した。
- ・久保理事より奨励賞の案内は出したのかと質問が有り、藤田事務局長より各施設に送付済みであると回答があった。
- ・久保理事より奨励賞推薦案内を見逃していたと報告があったため、川村公益部長より理事会終了後からでも推薦者を挙げてもらって構わないと補足があった。
- ・小島会長より奨励賞対象者選出について次のように追加があった。奨励賞は個人の立候補制となつてはいるが、施設長からの推薦ありきになっているのが現状である。北日本支部の場合は学会の演題の中から上位 2 名を選出している。今後の奨励賞該当者の選出方法を見直したいという話があったため、各人意見があれば是非出していきたい。

上記の事項について理事に諮ったところ了承された。

#### 8) 日臨技臨時総会について

小島会長より、以下のとおり報告があった。

- ・定款の改正があり全会員の 2/3 以上の議決権が必要であるため、各施設のご協力をお願いしたい。

#### 9) その他

小島会長より以下のとおり報告があった。

- ・日臨技からの JCCLS 共用基準範囲普及についての依頼が各施設に配布済みである。現時点での県技師会の見解を述べる。今後の全国的な方針として JCCLS 共用基準範囲に変わっていくことは間違いない。青森県では青臨技標準化対応基準値を推奨し、県医師

会からも変更願いを出示してもらい、現状では 6 割の施設が青臨技標準化対応基準値を採用している。会長就任時に県医師会長には基準範囲変更について一度話を通してはいるが、年明けに再度話し合う予定である。青臨技としては JCCLS 共用基準範囲に変更していくよう医師会に話すつもりである。まだ青臨技標準化対応基準値を用いていない 4 割弱の施設は今後変更することがあるならば JCCLS 共用基準範囲を使用してほしい。6 割の青臨技標準化対応基準値を採用している施設も今後は JCCLS 共用基準範囲に変えてほしい。県医師会の発表を待つのではなく、変更できるタイミングで順次 JCCLS 共用基準範囲を取り入れてほしいと考えている。

- ・表立つ問題として、脂質・尿酸における青臨技標準化対応基準値は病態識別値が使われている。日臨技の示した JCCLS 共用基準範囲は基準範囲であるためそのまま使用すると混乱が生じるのは明らかである。県内としては JCCLS 共用基準範囲＋病態識別値を使用する方針である。九州大学なども既に JCCLS 共用基準範囲に変更済みである。
- ・久保理事より正式に文書を出してほしいと意見があり、小島会長より承諾の返答があった。

## 【議題】

### 1) 県学会の進捗状況について

秋元学術部長より以下のとおり説明があった。

- ・青森県医学検査学会、精度管理講習会、懇親会は 6 月 18、19 日にむつグランドホテルにて開催予定である。
- ・教育講演、特別講演の講師を部門長に推薦してもらう予定である。

上記の事項について理事に諮ったところ了承された。

### 2) その他

小島会長より配布資料に基づいて以下のように説明があった。

- ・災害対策のワーキング自体が今の青森県にはない。旧技師会役員の連絡先を用いたマニュアルがあるが、新体制になってから見直していないため、時期を見計らいマニュアルを改訂する予定である。
- ・講師の謝礼について、規約を確認したい。県技師会会計の手違いで講師の謝礼を間違えて支払った。プログラム上の時間に応じた金額であることを再発信したい。
- ・実技指導者の謝礼について明確な規定がなかった。今回は 30 分未満の 2500 円で対応してもらった。実技指導者への謝礼に関する規約がないため、次回理事会で県として決定したい。

齋藤渉外部長より以下のように報告があった。

- ・法人移行に伴う公益目的支出が終了した。

・3年後 2018年開催予定の北日本支部医学検査学会について、詳細はまだ決まっていない。  
また日程であるが、10月頃を予定している。来年からの開催地は新潟→秋田→青森の順  
である。

上記の事項について理事に諮ったところ了承された。

議長は以上をもって審議を終了したことを告げた。

会 長 印

監 事 印

印